

令和2年度実績概要

1 令和2年度の実績概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた1年となりました。

令和2年4月7日に神奈川県を含む7都道府県に緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛の呼びかけや百貨店、映画館など不特定多数が集まる施設への休業要請があり、市内観光イベントも相次いで中止の事態となりました。

当該宣言解除後も長期的な感染対策の徹底を余儀なくされ、海水浴場の開設を断念するなど鎌倉市にも大きな影響を与えました。

また、当該感染症拡大に伴い、日常生活においては「新しい生活様式」による過ごし方が提唱され、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いうがいといった感染対策や、テレワーク、時差勤務等の推奨がありました。

鎌倉市においても、訪れる観光客に対する当該感染症対策として、ホームページやTwitter、チラシを活用し、感染症対策を徹底したうえでの観光を行ってもらうための周知や、人ごみなどの密集を避けるよう呼びかけを実施しました。

本来であれば開催される予定であった東京オリンピック・パラリンピック大会が延期され、現在まで継続して海外渡航者の受け入れも制限されており、JNTOが発表した令和2年訪日外国人旅行客数は前年比87.1%の減少という結果となりました。

鎌倉市の延べ観光客数も大幅に減少し、前年比61.2%の減少となりました。

新型コロナウイルスの変異株の拡大など収束の見込みが立たない状況ではありますが、引き続き「第3期鎌倉市観光基本計画」に基づいて、「成熟した観光都市鎌倉」を目指す取り組みを着実に進めていきます。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくりまします。」

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

鎌倉の持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識し、観光に携わるあらゆる主体が連携・協力して、誰もが「住んでよかった、訪れてよかった」と思える成熟した観光都市を目指します。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅰは、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産や、美しい自然景観の保持に努めつつ、それらを観光資源として発展及び向上させることを目標としています。

令和2年度は、「鎌倉まつり」や「鎌倉花火大会」、「鎌倉薪能」など伝統的な催事、神事に関して、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止や開催方法の変更を余儀なくされました。

海水浴場についても開設を断念しましたが、一定数訪れる海岸利用者の影響に鑑み、安全確保や風紀維持のため、マナーアップの推進や事故未然防止のための人員配置を行いました。

また、観光課で整備を行っている観光案内板については、今年度も引き続き修繕等を実施しました。

令和2年度は、源氏山公園の地区案内板や等覚寺の名所掲示板のリニューアル、その他にも老朽化した案内板等の修繕を行いました。

令和元年度に台風の被害を受けたハイキングコースについては、復旧作業を実施し、現在は、葛原岡・大仏ハイキングコース及び天園ハイキングコースの一部（天園～瑞泉寺間は通行止め）が通行を再開しています。



鎌倉海岸キープザグリーンハート
キックオフにて



等覚寺 名所掲示板

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅱは、市民生活と観光振興の両立を図り、市民の観光に対する理解を向上させることで、成熟した観光都市鎌倉をつくりあげることが目標としています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、危機管理の観点からも安心した市民生活を維持できるよう、訪れる観光客に対する当該感染症対策の呼びかけを行いました。

コロナ禍において鎌倉観光の際に守ってもらいたいことを「7つのお願い」にまとめ、ホームページやTwitterにおいて周知を行いました。

また、主に小町通りで見受けられる食べ歩きについて、マスクを外して食べながら歩くことで飛沫が飛び散り感染の恐れがあることから、そのような行為を控えるようにSNS等による周知のほか、各事業者へのチラシの配布を行いました。

鎌倉観光をご予定の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

- 1 鎌倉観光当日には、必ず皆さん体調確認を！
体調がすぐれなければ、延期をご検討ください。
- 2 観光の際は、マスクを着用ください！
- 3 観光の際は、人との間隔を
2m(最低1m)確保！
- 4 観光の際は、少人数(5人以下)で行動を！
- 5 各施設の感染拡大防止策にご理解・ご協力を。
- 6 飲食物の容器など、ゴミはお持ち帰りください。
- 7 こまめな手洗い及び手指消毒をお忘れなく。
また、極力、携帯用衛生用品もお持ち帰りください。

鎌倉観光における7つのお願い

「食べ歩き」しない。

「その場で食べよう」

「持ち帰ろう」

新型コロナウイルス感染対策
ピクトグラム

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅲは、観光の形態や属性に関わらず、観光客の誰もが鎌倉の観光に対して高い満足感を抱き、安全で快適な環境のもと鎌倉の魅力や価値を学び楽しむことができることを目標としています。

例年実施している市民団体との協働事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、残念ながら実施することができませんでしたが、今後の施策に向けた見直しや既存事業の活用を図りました。

例年、市民団体「鎌倉・文化の森」と協働事業で行っている観光マップの作成は、令和2年度は実施できませんでしたが、当該団体と別途委託契約を締結し発注した地図データを活用し、江ノ島電鉄腰越駅の地区案内板のリニューアルを行いました。

また、平成31年度に開設した観光課及び観光協会の統合ホームページ「鎌倉観光公式ガイド」では、新型コロナウイルス感染症に係る各施設の開館状況の発信や混雑回避のための分散化を目的とした鎌倉観光の見どころの発信など、正確かつ鮮度のある情報発信を行うよう努めました。



目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

目標Ⅳは、観光の振興や観光産業に携わっている民間事業者や関係団体が、その活動にやりがいを感じ活躍することができる地域社会の生成を目標としており、「歩く観光」「泊まる観光」を推進することでより多角的な観光消費の拡大を目指しています。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策として、混雑した場所や時間帯を避けることが提唱される中、鎌倉市では、元来の特徴として観光客の分散化を推進していたため、従来の鎌倉市観光基本計画に基づき、あまり知られていない四季折々の花の名所の紹介や歩く観光の推進に努めました。

